

第 44 回 全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会【AS 競技】

監督者会議資料

公益財団法人 日本水泳連盟

競技委員長 鈴木 浩二

AS 委員長 本間 三和子

1 新型コロナウイルス感染拡大防止について

- (1) 本大会は日本水泳連盟が定めた「水泳競技会の再開に向けた感染拡大防止ガイドライン」を順守し、「無観客」で開催。
- (2) 大会参加者は、二次要項の「大会の参加に当たって」【別紙 1】を順守すること。本大会では更なる感染拡大防止対策を講じる場合がある。施設内では、係員の指示に従うこと。
- (3) 大会関係者は、大会ホームページ(以下HPという)からダウンロードした「健康チェック表」を毎日提出すること。また、新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) を活用できるように準備している場合は、電源をONにした上で Bluetooth を有効にすること。尚、個人所有の携帯端末の諸事情によりインストール不能な場合はこの限りではない。
- (4) 大会期間中は徹底した感染拡大防止対策に努め、自宅～大会会場～宿舎の移動のみとし、外出は控えること。

2 資格の確認、出場順の抽選、登録情報の確認について

- (1) 申込者全員の資格確認済
- (2) 各ルーティン出場順の抽選は二次要項の通り 8 月 21 日(土) 10:00 より行う。抽選結果は暫定スタートリストとして、8 月 21 日(土) 12:00 を目途に「SEIKO アーティスティックスイミング・リザルト速報サービス 2021 年」で公開する。
- (3) 10～12 歳および 13～15 歳フィギュア競技出場順の抽選は全フリールーティン終了後、プールサイドで行う。
- (4) 監督者会議に予定していたプログラムの訂正について、8 月 21 日(土) 公式練習時間内に関係資料(エントリーリスト)を受付で受け取り 14:00 までに、エントリーボックスへ提出すること。当日来場できないクラブで訂正がある場合には来場後、エントリーボックスへ提出すること。エントリーボックスは 3F 選手受付に設置する。
- (5) エントリー時に補欠登録をしたデュエット、チームテクニカル、チームフリーについては、メンバー変更の有無に関わらず競技開始 2 時間前(エントリー締切時刻)までに、最終エントリーを所定の用紙でエントリーボックスに提出すること。
- (6) 棄権する場合は、競技開始 2 時間前(エントリー締切時刻)までに、所定の用紙をエントリーボックスに提出すること。以後、やむを得ず棄権する場合、速やかにレフリーに書面で届け出ること。
- (7) 二次要項の通り、発熱の発症等により、会場へ入場不可または出場できなくなった場合、文書で証明された場合のみ特別措置が認められる。8 月 20 日(金)以降は、発症した時点で直ちに「特別措置申請書(棄権申請)」「特別措置申請書(エントリー申請)」を書面でレフリーに提出すること。

3 競技について

- (1) 競技方法については全て大会要項の通り行う。
- (2) 競技進行状況により、競技時間・練習時間に変更がある場合は場内で告知する。
入場時間に変更がある場合は、受付にて案内する。
- (3) ルーティン競技について、以下の通りプレスイマーをおく。

- ・10～12 歳 ソロ、デュエット、チーム
 - ・13～15 歳 ソロ
 - ・フィギュア競技プレスイマー：ルーティン 13 位以降で最上位の選手に依頼予定
- (4) フィギュア競技 グループ抽選
- ・10～12 歳 3 グループ
 - ・13～15 歳 8 月 21 日(土) 9:25 HP 公開予定
- フィギュア競技の出場順抽選は、例年通り、クラブの代表者が該当選手分の抽選用紙を引き、クラブ名・選手名を記入する方法とする。(8/19 掲出の「出場順抽選およびフィギュアグループ抽選について」より変更)

4 表彰について

- (1) 表彰式は行わない。年齢別の各種目 1 位～3 位へのメダル・賞状および最優秀・優秀選手の杯の授与は正式結果発表後に行う。併せて上位 3 位については、記念撮影を行う。(実際に泳いだ選手にのみメダルを授与する)
- (2) JOC 杯の授与は 15～18 歳正式結果発表後に行う。
- (3) 選手の所属が複数ある場合においても、競技会ではひとつの所属を選択して出場すること。記念撮影では、種目ごとに異なる所属のウェアを着用してはならない。

5 入館・退館、入場・退場について

- (1) AD カードを持っている、選手・関係者以外は入館できない。AD カードは来場初日に受付で配布する。
- (2) 館内にいるときは、AD カードを常時首から下げて着用すること。また入退館に際しては、AD カードを提示し、係員の指示に従うこと。紛失した場合は、有償(3,000 円)にて再発行する。
- (3) 入館は 3F プール観客席出入口からとする。
- (4) 大会会場への入館開始時間を開門、最終退館時間を閉門とし、プールエリアへの入場・退場時間と合わせて日程表に記載する。開門時の入館は、その日の競技に出場する選手とコーチを最優先とし、規制入場とする。
- (5) 「健康チェック表」の提出について
公式練習日、大会期間中とも、毎日「健康チェック表」を受付へ提出すること。外出後の再入館の際は、入館口での検温を行うが、上記の用紙の提出は必要ない。再入館を前提に外出する際は受付で AD カードに外出シールを貼り付ける。
- (6) 入館前に、手指消毒をし、検温を受けること。入館時の検温で 37.5 度以上あった場合は、別の場所で再度検温を行う。その結果、37.5 度以上あった場合は、入館することができない。
COVID-19 Officer の指示に従うこと。入館時の判断基準は【別紙 2】参照。
再入館する際も、手指消毒・検温を受けること。
- (7) プールサイドへの入場・更衣室の使用は、競技順により制限する。当日競技に出場しない選手は、観客席待機のみとし、プールサイド・更衣室の使用は出来ない。
- (8) 3F 観客席からプールエリアへの通行口において、入場種目毎に指定された選手 AD カードの色シールを係員が確認する。
- (9) 選手は、自分の競技終了後、なるべく速やかに退館すること。ミーティング等は控えること。

6 会場案内・注意事項

- (1) 会場内は、使用エリアを限定する。立ち入りを許可された時間、エリアを順守すること。選手・コーチの待機・飲食指定場所は、観客席とする。選手席は観客席のみとする。選手席は指定されたエリアをクラブ間で協議して、譲り合って使用すること。館内動線を守ること。
- (2) 選手の荷物置き場として、観客席を使用することができる。クラブの人数に応じて適切なスペースを使用すること。クラブ毎に荷物をまとめ、盗難防止に努めること。また、荷物は最小限に留め、貴重品はクラブ責任者が管理すること。

- (3) 観客席の座席は、少なくとも一つ以上空けて使用することし、隣の人と接した状態で使用しないこと。人との距離・座席間の距離を保つこと。
- (4) 飲食は、観客席のみとし、観客席裏のスペース、更衣室、プールサイドでの飲食は禁止とする。特に食事を取る際には、感染予防のため、観客席で人との距離を保ち、会話を控えて単独で取ること。ドリンクは、各自で保管し回し飲みはしないこと。飲みきれなかったドリンクは持ち帰ること。
- (5) 観客席、通路は外履きで通行すること。(裸足の通行は厳禁とする)。また、プールサイドでは選手は裸足、コーチは上履きの使用可。観客席からプールサイドや更衣室に移動する際は、土足をビニール袋などに入れて保管すること。土足でのプールサイドへの立ち入りは厳禁とする。
- (6) 飲食物・持ち物等は、自分専用の物を用意し共用しないこと。従って、室内履き、タオル・ハンカチ、脱いだ服を入れる袋など自分専用のものを持参すること。
- (7) 女子選手更衣室は、1F 男女更衣室、男子選手更衣室は、サブアリーナ男子更衣室を使用する。更衣室は、密を回避する目的、および滞在時間短縮のため、更衣のみとし、ロッカーを使用することはできない。
置き荷物は、忘れ物として扱う。また競技会終了後、残った忘れ物は処分する。
- (8) 練習および競技中、プールサイドへは必要最小限の物のみ持ち込み可とする。各自でビニール袋やナップザックなどを持参し、全ての持参品をひとまとめにし、外から誰が見ても分かるようにクラブ名と氏名を大きく明記すること。
併せて、各自でマスクを保管する袋を用意し、他人のマスクと間違えることのないようクラブ名・氏名を明記すること。加えて使用後のマスクはビニール袋に入れ、その口をしっかりと閉じた上で持ち帰ること。なお、プールサイドでの水分補給を認める。飲み物も各自で責任をもって保管すること。
- (9) 更衣室、トイレなどには、せっけん・アルコール消毒液他が用意してあるので、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (10) 泳ぐとき以外は、原則として常にマスクを着用すること（更衣室・招集所・選手控え場所・観客席・プールサイド・トイレなど）。競技前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。(マスクは、選手イス・脱衣ボックスに、直接置くことのないよう注意すること) 招集所内では、マスクを外すことができるが、他の選手との十分な間隔をとって、会話は慎むこと。
- (11) 会場内・屋外での発声を伴うランドリルは禁止する。ランドリルをする際はマスクを着用し、音量に注意する。
- (12) コーチは、練習時プールサイドから水中にいる選手への大声での指導を控えること。マスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。指導者同士の会話は最小限に留めること。
- (13) 本大会では観客席選手席から、全て競技の撮影をすることができる。
- (14) 大きな声での会話や、大きな声を出しての応援をしないこと。拍手・手拍子は認める。
- (15) 毎日出場する1種目めの髪上げは、できるだけ宿舎で済ませて来ること。出場2種目め以降や、宿泊なしで会場入りする場合の髪上げおよびメイクは、観客席裏を使用することができる。尚、レジャーシートを持参し、広げたくて髪上げし、髪やゼラチン、ピン類で床を汚さないこと。
- (16) 競技直前のメイク直しについては、プールサイドで行うことを認める。密にならないよう細心の注意を払うこと。
- (17) プールエリアにガラス製品を持ち込まないこと。(メガネ、マニキュア・化粧品の瓶など)
- (18) 競技後のシャンプー、髪ほどきは宿舎に戻ってから行うこと。但し、競技後、宿舎に寄らず帰宅する場合、シャワー室でのシャンプー使用を認める。シャワー室が密にならないよう各自の演技終了後、速やかに行うこと。シャワー使用後は排水溝を清掃し、詰まった髪の毛・ゼラチンは除去してゴミ袋に入れ持ち帰ること。ゼラチンはシャワーで流さず、持ち帰ること。
- (19) 観客席退出時の片付けを徹底すること。ゴミ袋を持参し、各自が持ち込んだものから出たゴミはすべて持ち帰ること。
- (20) マッサージベッドは持ち込みができない。
- (21) 公式掲示板を3F 入口付近に設置する。掲示確認の際は、周囲の関係者との距離に留意し、譲

り合って順番に確認すること。

- (22) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。

7 大会・競技について

(1) 緊急連絡先

本部宿舎 ダイワロイネットホテル新横浜 045-473-4155

(2) 選手・コーチ動線

ウォークオンライン、コーチ席、競技中の選手・コーチ動線は【競技プール図】参照
各競技終了後、上位3位までの入賞者は、メインプールの本部席側競技エリア外付近に集合する。

(3) 医療体制

本大会は、COVID-19 Officer が常駐し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止および、競技役員・出場選手の感染予防にあたる。期間中、選手の健康管理は、各クラブで十分注意し、発熱者および怪我や体調不良があった場合は、直ちに大会本部に申し出ること。
その後は、COVID-19 officer および救護スタッフの指示に従うこと（救護室に直接立ち入ることとはできない）。

(4) 映像配信

インターネット配信を行う予定。詳細については別途通知する。テレビ放送は行わない。

(5) 競技結果の配信

競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。

SEIKO アーティスティックスイミング・リザルト速報サービス 2021 年

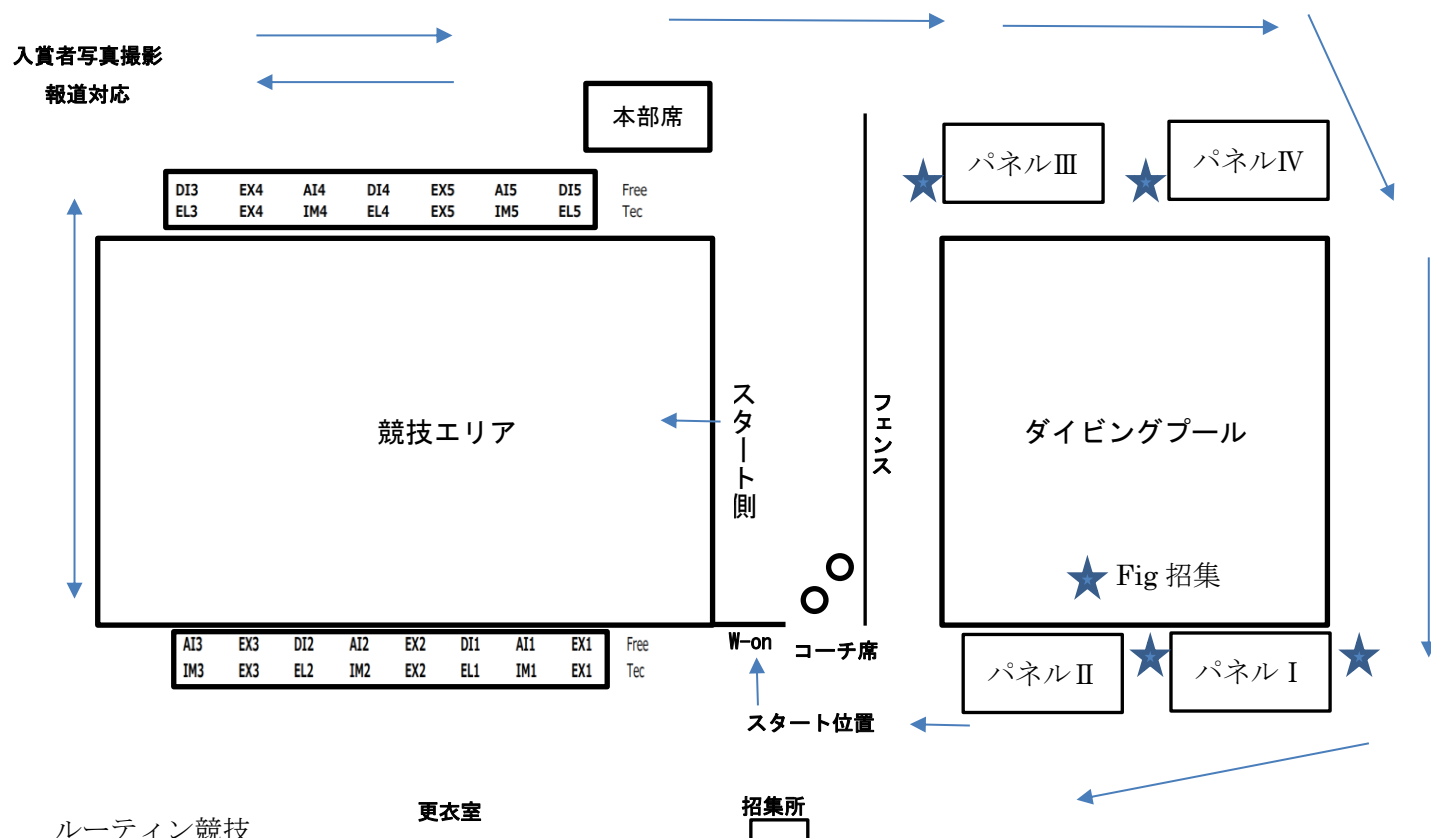
<http://swim.seiko.co.jp/artistic/2021/03/jp/index.html>

※速報は WEB 公開・公式掲示板への掲示のみとし、クラブ毎の配付は行わない。

※公式結果の発表について可能な限り競技終了直後、場内で行う。

以上

【競技プール図】



ルーティン競技

■選手

- ・招集所へは早めに集合すること。
- ・選手は、ひとつ前の演技・音楽の終了時に、スタート位置へ移動して待機。
- ・得点を聞く際は、選手同士が密接にならないよう間隔をあけて立つこと。
- ・演技終了後、ただちにコーチからマスクを受け取り着用すること。
- ・演技終了後の導線は、ダイビングプールの裏を回って更衣室へ移動。

■コーチ

- ・フェイスシールド・フェイスガード・アイガード等を着用し、招集所で選手のマスクを受け取り保管すること。
- ・招集後、演技開始前にコーチ席へ移動、競技中はコーチ席で演技を確認すること。
1エントリーにつき、2名までコーチ席に立つことができる。
コーチ席では密接にならないよう間隔を空けて立つこと。
- ・演技終了後、選手にただちにマスクを着用させること。

フィギュア競技

■選手

競技中、メインプールで練習可。

■コーチ

競技中は観客席で演技を確認すること

ただし 10・12 歳の競技時は、プールサイドの指定場所から、選手の様子を見守ること。

大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 入館前 2 週間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方いる場合
 - ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 「健康チェック表」「感染防止対策チェックリスト」を入館者全員が持参しているか確認すること。
提出できない場合は入館できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (4) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるよう準備する。COCOA を入れている場合は、電源を ON にした上で Bluetooth を有効にすること。
- (5) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内では、マスクをはずしてもよいが会話を控えること。招集所でははずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (6) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。マスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。
- (7) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2 m 以上）をとって行動すること。
- (8) 競技終了後、更衣室で水気を取り、マスクを着用し、室内履きを履いてから移動すること。
- (9) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。
- (10) 食事は、選手控え場所・観覧席のみで、人との距離（2 m 以上）を保ち単独で取ること。
- (11) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (12) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー
 - ・ アイシングバス、トレーニングバイク等
 - ・ メガホン、横断幕、のぼり
 - ・ 共有で使用するストレッチマット（個人専用は持ち込み可）
 - ・ マッサージベッド
 - ・ チーム共有のチューブ、バランスボール等の運動用具（個人専用は持ち込み可）

入館時の判断基準

